



Serve to Change Lives

# ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区

2021-2022年度 6月号



恵比寿様(大前神社 真岡市)

大前神社内の恵比寿神社に御鎮座する日本一大きな恵比須様は、平成元年12月建立されました。地上から約20メートルの大きさがあります。商売繁盛、金運招福の神様です(ホームページより)。  
経済が回復しますように。新型コロナ禍が終息しますように。ウクライナ国民に安寧な日々が一日も早く訪れますように。最後にロータリアンのご健勝とご多幸が続きますように。多くのことをお祈りしました。

## Contents

|                                     |    |                        |    |
|-------------------------------------|----|------------------------|----|
| ロータリーの目的・四つのテスト .....               | 2  | ロータリー 一年交換学生募集要項.....  | 12 |
| ガバナーメッセージ.....                      | 3  | コーディネーターニュース.....      | 13 |
| 特集 各クラブの奉仕事業 .....                  | 4  | 2021-2022 地区内主要行事..... | 13 |
| 米山記念奨学生&米山カウンセラーオリエンテーション開催報告 ..... | 8  | 新入会員紹介 .....           | 14 |
| ロータリーの友お知らせ .....                   | 8  | 物故会員.....              | 15 |
| 派遣学生オリエンテーション開催報告 .....             | 9  | 4月会員数報告 .....          | 15 |
| 宇都宮RC創立70周年記念式典開催報告 .....           | 10 | 編集後記.....              | 15 |



# ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。  
具体的には、次の事項を奨励することにある。

- 第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

# 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



### 「一年を振り返って」

国際ロータリー第2550地区 2021-22年度ガバナー

いし だ じゅん いち  
石 田 順 一 (真岡ロータリークラブ)

年度当初、デルタ株による感染が拡大し、緊急事態宣言等の発令により感染者の終息政策でしたが、現在は「WITHコロナ」政策に転換されました。周辺に濃厚接触者がいただけでも活動が制約されますので、十分注意しながらの活動をお願いいたします。

ロシアによるウクライナ侵攻は終息の兆しさえ見えない状態が続いております。ウクライナ国民の皆様が一日も早く安寧な日々を送れるようになることを願います。

私の最後のガバナー月信をお送りします。地区行事、各クラブの活動状況を少しですが発信できたと思います。特に、4月号から今月号に掛けて奉仕活動事業の特集を組んでみました。今後の活動に参考になれば幸いです。

願いを込めて次年度にエールを送ります。新しい年度が始まりますと、RIや日本事務局、日本のRI理事、ガバナー会、財団などの全国会議などの情報が入ってきます。また、各クラブ、各委員会からの問い合わせが頻繁になります。そこで感じたのは、ガバナー年度の一年は、ほぼ決められた会議や対応で済むことが多いのですが、全体の流れに精通した方がいないので戸惑うこともしばしばあることです。連絡は分かりやすくしているつもりでも、ニュアンスや細かな変更などがあり、微妙な言い回しで勘違いなどが起こったりしますので、老婆心ながらアドバイスさせていただきます。

さて、今月はロータリー親睦活動月間です。この親睦は、世界のロータリアンと共通した趣味などを通して友情を育み、世界理解に繋げ、多くのフェロシップを理解する月間です。ロータリーにとって親睦は大きな柱の一つで、基礎と言っても過言ではありません。様々な趣味の会を持つロータリークラブが沢山あります。ワイン・日本酒・山登り・ゴルフ・野球・囲碁・将棋等々様々な親睦活動を行っているようです。ロータリアン同士の親睦を確認する大切な月間でもあります。友情に支えられて、次年度に向けて一丸となって奉仕の理想を実践する意味を持っています。まだ、不自由な状況が続きますが、少人数での限られた会合を積み重ね、親睦をはかり結束力を高めましょう。

一年を振り返ってみますと、記憶に残る一年だったと強く感じます。私は、この一年で、かつて経験した事の無い何物にも代えがたい貴重な体験をさせていただきました。行き先が同じ場所でも、例会とは全く違う行き方で周りの景色も見えない闇夜を壁にぶつかりながら、ひたすら全集中で走り切った感じです。今まで乗ったことのない乗り物に、着地点も分からず、正に、五里霧中でありました。各クラブ公式訪問、地区大会も不完全燃焼でした。一日も早く通常の活動が再開されることを願っております。

一昨年(2020年)のガバナーエレクト研修会、昨年(2021年)のバーチャル国際協議会、全国的な会合への出席、公式訪問を実施し、自分でも驚くほど成長したと感じております。まさに一期一会を実感した一年でありました。これらの経験は私だけのものにしてはいけないと思いますし、今後の人生をさらに豊かにするために、一ロータリアンとして世の中のために尽くして行きたいと思っています。

ロータリーの本質、親睦と奉仕活動の尊さ、4つのテスト(真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情深めるか、みんなのためになるかどうか)から導かれた教え、「最も奉仕する者は最も報われる」を心に刻み、自分を磨き、職業人としての誇りを持ち、周りの方々に見守られ支えられて自分があると言う謙虚さを忘れることなく、社会人として実践して参りたいと思います。

最後になりますが、今年度支えて頂き、励まして頂き、絶大なるご協力を頂いたパストガバナーの親身なアドバイス、地区幹事をはじめ地区役員の方々、真岡ロータリークラブのメンバーに感謝申し上げます。

そして、ガバナーとしての職責を果たせたのは、理解をしめてくれた社員、背中を押してくれ、共に歩んでくれた妻、幸子にありがとうと言わせて頂きます。

改めて地区内ロータリアンの皆様に感謝申し上げ、次年度も共に活動して参りましょう。ありがとうございました。



### 特集記事を掲載するにあたり

月信第9号まで、ガバナー公式訪問の記事とともに各クラブの奉仕事業を報告いただき、各クラブの多くの特色ある奉仕事業を報告していただきました。事業の詳細を知りたいということで特集記事を掲載することにしました。

今般、社会的課題である「貧困」をキーワードとした「子供たちへの応援・支援」等の特色ある奉仕事業を取り上げてみました。他クラブの参考になるものと思います。

(月信担当 真岡ロータリークラブ 市村忠男)

## 「未就学児への絵本寄贈プロジェクト事業報告」

しもつけロータリークラブ  
会長 山本 郁夫

子どもたちが通っている保育園や幼稚園から、「コロナ禍の中で、本を買いたいけれどもなかなか予算が取れないとか、今まで使っていた本が傷んでいて、また新しい本に買い替えたい。」と云う話をお聞きました。

それを受けて、我々しもつけロータリークラブで何とかお手伝いできないかと、クラブに提案し、地区補助金を使った今年度の奉仕活動の一つとして絵本や図鑑の寄贈プロジェクトをたてました。

予算総額は約40万円(地区補助金約16万/クラブ予算約24万)です。青少年奉仕委員会を中心にクラブ奉仕事業として進めました。

下野市は健康福祉部こども福祉課・上三川町は子ども家庭を通して、合わせて26施設(対象となる人数は3,100人)に、どのような本が欲しいか前もって希望する本を募りました。

帰って来た返事は、これほどまでにバラバラか?と思えるほど各施設の希望図書が違い、一冊ずつ出版社に問い合わせる細かい作業となってしまいました。中には廃版になっていたり、又は図書の名前と出版社名が違っていたり、とにかく用意するのに手間取りました。幸いに我がクラブ会員の中に本屋さんが在籍しておりまして、手間を掛けて1冊ずつ丁寧に集めて頂きました。大分苦勞したようでした。お世話になりました。

明細は、下野市16施設(金額253,524円/169冊配布)

上三川10施設(金額146,476円/114冊配布)

**合計金額400,000円/合計283冊配布となります。**

やっと11月末に用意が出来あがり、12月に入ってから配布となりました。各施設に担当者を振り分け、直接届けてきました。

届けた会員の話では、「子供達大変喜んでくれて我々と一緒に写真とってきたよ」とうれしい報告が例会の中で話題となりました。中には、「我々を不審者扱いして非常に困った。」と云う報告もあり、コロナ禍の中で子供達を預かる保育園・幼稚園側の、万が一と云う時の心構え、気使いの大変さに感心しました。

令和4年1月に入ってから下野市・上三川町へそれぞれ寄贈目録を贈呈し各市長・町長から感謝状を頂きました。下野新聞にては、1月19日付にて上三川町星野光利町長への贈呈式の模様が掲載されました。

1月20日(木)下野市役所にての広瀬敏雄市長への贈呈式(しもつけロータリークラブ会員6名参加)では、一緒に参加された“しば保育園”の大橋園長先生からは「絵本は子供達の情緒の安定や成長の為に欠かせないものです。大変ありがたく有効に使わせて頂きます。」とコメントを頂きました。

また、小金井保育園からは、「先日は、絵本・図鑑のプレゼントをありがとうございました。クリスマスの絵本をひらくと子どもたちは目をキラキラ輝かせながら見入っており、図鑑は友だちと言葉を交わしながらじっくりとページをめくっていました。これからもみんなで大切に読ませて頂きたいと思います。」

とコメントの入ったお礼状も頂きました。その他多くの幼稚園・保育園等からたくさんのお礼状を頂きました。

絵本が子供たちに与える効果はとても大きいと云われています。信頼する先生に読んでもらう絵本の時間は、コロナ禍でたくさんの制約に耐えている子供たちにとって、ホッと出来るひと時になる事と思います。子どもたちが心豊かに健やかに育ってくれるといいですね。

## 特集 各クラブの奉仕事業

青少年奉仕委員会を中心に企画した未就学児への絵本寄贈プロジェクトは、しもつけロータリークラブ会員にとりましても、コロナウイルス感染拡大の中、未就学児への幼児教育の一環として役に立つ素晴らしい奉仕活動が出来たのではないのでしょうか。

私の今年度の会長テーマは「心を込めた奉仕をしよう」です。少しは皆さんのお役に立ったかなと思います。

以上で未就学児への絵本寄贈プロジェクトの報告と致します。



## 「貧困及び障害児童への支援事業報告」

小山ロータリークラブ  
会長 館野 敏

### 【現在の活動に至った経緯】

小山ロータリークラブでは、長年、栃木県立国分寺特別支援学校の生徒の皆さんとの交流を通じ、障害児童への支援活動を行っていましたが、近年はその範囲を貧困、ネグレクト、虐待で居場所のない児童へと拡げてきました。

その拡がるきっかけとなったのは、2015年2月に開催された第5グループのIMでした。記念講演をされたNPO法人の理事長のお話が、あまりにも衝撃的で、我々を貧困児童への支援活動へと突き動かしました。

その理事長は、小山地域で初めて貧困やネグレクト、虐待などで居場所のない小中学生を受け入れる「シリウス」という施設を設立されたばかりだったのですが、最初に受け入れた子供たちの中に、「小学5年になるまでお風呂に入ることがない男の子や小学3年まで歯磨きをしたことがない女の子がいた」という事実を知らされ、驚愕したことを今でもはっきり記憶しています。

正直、「どこの国の話をしているのか」「いつの時代の話をしているのか」と疑いましたが、残念なことに現代の我々の身近で起きていることでした。それも小山地域には、居場所のない子供たちが300人近くもいて、そのうち、わずか15人しか受け入れることができていないという現実も明らかになりました。（現在小山市には2施設があり30人の子供たちが利用しています）

戦後間もない日本や、現代でも発展途上国などでは、子供の多くが貧困と言った「絶対性貧困」は、それはそれで問題ではあるのですが、このような現代日本の貧困は、存在自体が表に出ず埋もれてしまっている「相対性貧困」であることに大きな問題があると、当クラブでは認識しました。

### 【具体的な活動内容について】

そこで当クラブが着手したのは、啓発活動です。この施設の子供たちをクリスマスやハロウィンなどのイベント例会に招待したり、逆にクラブ会員が施設を訪れるなどして子供たちとの交流を活発に行い、それをクラブ内外に発信していくという活動です。

その活動が成果を上げた事例を紹介しますと、コロナ禍で最初に緊急事態宣言が発出された20年3月初旬ですが、小山市内の小中学校はすべて





## 特集 各クラブの奉仕事業

休校となりました。休校となれば勿論給食もなくなるわけですが、実はこのような子供たちにとって、給食は栄養を補給する重要な一食であり、これがないことでお腹をすかせ辛い思いをしていることが、交流を通じ浮き彫りになりました。そこでその情報をクラブ内外に発信したところ、クラブ会員はもちろんのこと、地域の企業や団体をはじめ全国から大量の救援物資が届き、子供たちの空腹を満たしたということがありました。

このように当クラブでは交流を通じて、次々に明らかになる問題に対し、様々な支援活動を展開しております。そこで、今年度の活動についてですが、当クラブでは地区ロータリー財団のご支援もいただき「障害及び貧困児童への就業支援プロジェクト」を実施しました。

今回のプロジェクトでは、交流している子供たちが、生きることで精一杯な状況で、夢や目標を抱くことが出来ず、将来になりたい職業も一切考えられないという問題に焦点を当てました。そこで彼らが未来に向け、少しでも就業への意欲を向上してもらえようと、当クラブの会員企業である結婚式場での職場体験と同じく会員企業である日帰り温泉での職場見学を行いました。

結婚式場での職場体験では、実際にテーブルセッティングの仕事に挑戦してもらいましたが、何分、人生において初めてのことで最初は多少戸惑いもあったようですが、式場スタッフの方々の親切な指導と息の合った子供たちの連携プレイで、すべてのテーブルが時間内に見事にセッティングを完了することができました。完了後にはどのテーブルでも自然発生的に歓声が沸き、拍手が起こるなど達成感を感じてもらえたようです。

一方、日帰り温泉の職場体験に同行された施設スタッフの方からは、「子供たちが日本人に馴染みの深い温泉を身近に感じる事ができました。またスタッフの方がいきいきと仕事をされている姿をみて大変感心しておりました」との声を寄せていただきました。

### 【プロジェクトの予算について】

今回のプロジェクトでは、職場体験と職場見学を受け入れてもらった会員企業を含め、クラブ会員企業22社を紹介したパンフレットの作成、参加者全員に贈呈した記念ボールペン、結婚式場と学校の送迎バス費用、参加児童及び学校職員、施設スタッフの食事代等々で34万8490円の費用が発生しています。

当初の計画では、職場体験だけで、受入会員企業も高齢者介護施設と幼稚園で行う予定でしたが、新型コロナウイルス新型株感染拡大による制限によって、受入企業や内容を変更せざるを得なくなりました。従いまして、当初の予算である17万2750円から大きく超過しております。超過分につきましては、当クラブの地域社会国際奉仕から支出しております。



真岡ロータリークラブ  
奨学金委員会副委員長 渡邊 佳寛

## 「奨学金支援事業報告」

日本の子供達の6人に1人が貧困状態。一人親世帯では50%超が貧困家庭。厚生労働省が2012年に発表した相対的貧困率は、にわかには信じられないような日本の実態を浮かび上がらせました。特に深刻なのは母子家庭で、母親の8割が働いているものの低賃金に抑えられ、なおかつ離婚した父親の8割は養育費を払っていないという事実です。2015年、2018年には14%前後となったので「7人に1人」とやや改善されましたが、我が真岡ロータリークラブが新規事業創設を考え始めたとき、日本はすでにそのような状態でした。

アメリカや中国と桁が違うとはいえ、我が国は世界第3位のGDPを誇る経済大国です。その日本の子供たちの7人に1人が未だに貧困状態にあるというのは由々しき事態と言わざるを得ません。貧困の原因は単身高齢者世帯と一人親世帯の増加にあります。我々ロータリアンがその根源的な要因に触れることは不可能です。いや、これはある意味社会現象なので、政府が奮闘しても容易に解決できる問題ではありません。したがって、応急手当ではあるのですが、今困っている子供たちを救うことをまず考えなければならないわけです。

真岡RCでは新規事業委員会を立ち上げ、始めに無償の学業支援を考えました。貧困家庭の子は塾や習い事に通えないため、教育格差が激しいことはすでに常識となっています。それらの子供たちを下校後に教えようという試みです。しかしながら、教える側の人材確

## 特集 各クラブの奉仕事業

保を退職教員や学生らの協力に頼らざるを得ない点や、市町ごとの教場の設置、教える子の人数制限など、実現には高いハードルがありました。そこで、奨学金制度創設が具体化してきたわけです。

ところが、その奨学金制度も、調べてみるとなかなか敷居が高いことがわかってきました。受給資格の収入基準については栃木県育英会が定めるところに従いましたが、まずは揺るぎない原資の確保が重要です。当時公式訪問に訪れたガバナーには「奨学金のためには億の金が必要だと聞いている」と言われてしまい、新規事業委員は頭から冷や水をかけられた気分でした。それでも、「地に足のついた金額であれば可能なはず」という思いから、我々は実現に向けて進みます。

最初に、大学生と高校生のどちらを支援するかを話し合い、賛成多数で高校生としました。当然ながら返済の必要が無い給付型奨学金です。月々の支給では額が嵩むので年間1回としましたが、その額をいくらにするかでやや意見が分かれました。10万円を5人にするか、5万円を10人にするか二者択一です。議論の末、会長エレクトであり、今年度まで奨学金委員長を務められる市村忠男会員の「できる限り多くの子供たちを支援したい」という思いを汲んで、委員会は「5万円10人」という結論を出しました。その時点では、新規事業委員会から奨学金委員会へと会の名称が変わっています。

少額とはいえ、原資確保のための会員約60名からの徴収額は決して少なくありません。初年度こそ月千円で良いものの、2年目は月2千円、3年目には3千円(年間3万6千円)としました。年間最大150万円の支出に耐えるためには、その程度の徴収は必要です。会費や米山記念奨学会への拠出の他に年間3万6千円の出費はやや重いですが、理事会で賛同を得られ、いよいよ「真岡ロータリークラブ修学資金制度」が始まることになりました。

ただ、いざ始めて見ると、奨学金制度創設の周知をどうするかという問題が浮かび上がってきました。新聞広告、折込チラシなども可能ですが、すべての保護者が目を通すとは限りません。そこで、各学校への申込書送付という最も効果的な方法を選びました。当クラブのテリトリーである真岡市・市貝町・芳賀町の教育委員会へ連絡して各中学校の3年生の人数を聞き、その分の手作りのパンフレットと申込書を印刷します。そしてそれらを、市村委員長と私が各教育委員会へ持参しました。担任の先生から生徒に直接手渡してもらえれば、すべての保護者に制度の存在を示すことができます。

真岡市に持ち込んだ際には市長も同席され、「立派な制度だが、仕事の多い教員の方々の負担にならないように」との指示を受けました。その点に関しては我々も前もって理解していたので、「保護者からの質問はすべて真岡RCへ」という文言も手作りパンフレットに載せておきました。

しかしながら、やはりすぐには周知は難しいらしく、初年度である平成31年度(令和元年度)応募者は2名に留まってしまいます。真岡ロータリークラブ自体の認知度が想定より低いのかもかもしれません。5万円という金額に問題がある可能性もありますが、3年間では15万円になりますので、入学時に10万円のみという一時金制度よりは訴求力はあるはずです。予定していた会員からの徴収額を減額し、次年度も5万円の支給額は変えませんでした。

2年目以降、令和2年度入学者と令和3年度の入学者はそれぞれ5名に増えましたが、今年度(4年度)入学者はまた3名に減ってしまいました。結果として4年間で合計15名という人数は少ないと言えるかもしれません。それでも我々は、経済的に困窮している子供たち15人を支援できたのは、意義のあることと自負していますし、矜持もある程度芽生えてきました。

我々奨学金委員会には夢があります。将来的には真岡ロータリークラブ内に特定非営利活動法人(NPO法人)を立ち上げ、企業からの献金を受け付けられるようにすることです。実現すれば、より多くの子供たちにより多くの奨学金を支給することができます。認定NPO法人、公益法人まで考えるとまだまだ道のりは長いですが、この夢を失わずに精進を続けたいと思っています。

真実を知り、行動を起こすこと。それこそがロータリアンの使命であると我々は信じます。



### 2022-23年度米山記念奨学生&米山カウンセラー オリエンテーション開催報告

国際ロータリー第2550地区ロータリー米山記念奨学会委員長 **長 正英**（宇都宮陽北RC）

2022年4月10日宇都宮市のホテルニューイタヤにおきまして新規米山記念奨学生並びに世話クラブ米山カウンセラーオリエンテーションを開催いたしました。

この会議は、新規米山記念奨学生（14名）、世話クラブ米山カウンセラー、サブ世話クラブ代表及び大学の指導教官の先生を交えての面談を目的とし開催されています。

まず、地区委員長並びに米山地区役員の挨拶の後、奨学生とカウンセラーの初顔合わせが行われました。その後全員を対象とした米山記念奨学会の説明が行われ、奨学会の歴史、目的などを説明させていただきました。

続いて、別室にて、奨学生としての必要事項を確認し確約書にサインをしてもらい、初めての奨学金を支給しました。世話クラブカウンセラー、サブ世話クラブ代表の方には、奨学生との交流についてなど色々なお願い事項を説明させていただきました。

奨学生の簡単な自己紹介後、奨学生、世話クラブカウンセラー、サブ世話クラブ代表、指導教官の先生を交えて今後の連絡先や、スケジュールの打ち合わせを行っていただきました。

最後に北関東学友会会長並びに地区学友委員会からご挨拶をいただきました。

今後1年ないし2年間の奨学生生活をより充実させるための重要な会議でありましたが、終始和やかな雰囲気の中で開催できたことは、大変うれしく思っています。

この4月から当地区では25名の奨学生をお預かりしております。ロータリアンの皆様におかれましては、奨学生をお客様扱いではなく同じロータリーの仲間として、例年以上に奨学生との交流をお願い致します。そしてさらに米山記念奨学会活動をご理解いただき、奨学生の成長を見守っていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## ロータリーの友お知らせ

「ロータリーの友」6月号には、ロータリーの友委員会委員長の鈴木宏様（宇都宮北RC）の退任の記事が掲載されています。鈴木委員長ご苦勞様さまでした。楽しい一時を過ごされたものと推測いたします。「ウクライナに向けた様々な支援活動」の記事、「海のプラスチックごみ」の記事、「不作為の奉仕と宇宙旅行」という楽しそうな題名の記事等々多種多様な記事で満載です。是非、ご一読下さい。

友地区代表委員の小林勇一郎氏から毎月ロータリーの友の目次を預けられましたが、なかなかお知らせ記事を掲載できませんでした。友地区委員の皆様にお詫び申し上げ、最終号で触れさせていただきました。（月信担当者より）



## 2022-23年度派遣学生オリエンテーション開催報告

国際ロータリー第2550地区青少年交換委員会委員長 **岩崎 正日登** (宇都宮陽北RC)

青少年交換委員会のオリエンテーションは例年ですと年間6回開催しております。毎年、8月の第1日曜日に派遣学生選考試験で選抜しますが、参加資格は中学3年から高校2年までの学生となっており、ロータリアンのご子息についてもこの国際ロータリーのプログラムは参加できる仕組みになっております。今年も派遣候補生は5名で約1年を通じたオリエンテーションプログラムにより、世界のどの留学制度よりも安全で安心できる交換プログラムを達成しております。

2022-23年度の派遣国の内訳は、アメリカ1名、フランス2名、デンマーク2名であり、現在、派遣先の地区やマルチ地区と国際ロータリーの交換プログラムに基づいた派遣体制を構築しているところです。選抜された派遣候補生は、この派遣プログラムによりロータリーの目的・歴史・仕組みを学び、青少年交換プログラムの概要を理解していただきます。つまり、青少年奉仕・国際奉仕における青少年交換事業であり、国際理解と親善の促進に努めることを目的にしていることです。

さらには、国際ロータリーの派遣の条件に合う地区のみが交換できるプログラムですが、お互いの地区の危機管理委員会の危機管理計画を前提とした派遣であり、出発から帰国までドアからドアまでを責務とした計画として取り組んでいるところです。

さて、派遣候補生については、このオリエンテーションの出席を最優先とすることを条件としております。派遣国からの渡航ビザを取得して初めて派遣学生となります。その間、数回のオリエンテーションに参加していくことになりますが、派遣先での生活については既に本プログラムを終えたローテックスにより、ネイティブな家庭、学校、地域の事前情報を獲得していただき、英語を中心とした派遣国の言語の取得に勉める期間ともなります。

最近のオリエンテーションの開催については下記のとおりとなります。ただし、開催にあたっては、危機管理委員会の指導のもとにソーシャルディスタンス等のコロナ対策を十分にとり開催しておりますことを申し添えます。

### 第3回オリエンテーションの開催

日 時 令和4年4月17日(日)9時30分～12時

場 所 ホテルニューイタヤ 宇都宮市

- 内 容
- ・派遣候補生の英語での自己紹介
  - ・ローテックスの経験談及びアドバイス
  - ・ビザの申請及び書類の説明



オリエンテーション於



オリエンテーション開催後に伊東永峯パストガバナーの護摩による安全祈願、世界平和のご祈祷を頂きました。



参加者一派遣候補生5名、ローテックス8名等

## 創立70周年記念式典開催報告

宇都宮ロータリークラブ 70周年実行委員会 担当理事  
創立70周年記念式典 実行副委員長

岡崎 善胤

4月23日(土)16時30分より宇都宮東武ホテルグランデ6F龍田にて、宇都宮ロータリークラブ創立70周年記念式典を開催いたしました。

式典には宇都宮クラブ会員の他、福田富一栃木県知事、佐藤栄一宇都宮市長、国際ロータリー第2550地区 石田順一ガバナーはじめ地区役員、第3グループのバストガバナー・ガバナー補佐・クラブ会長・幹事の皆様にご臨席をいただきました。

16時30分から創立70周年記念演奏会として、倉沢大樹さんを中心にしたスペシャルメンバーでのジャズセッションにより、モダンで和やかな雰囲気の中、式典がスタートし、会長による点鐘からセレモニーが始まりました。阿部欣文会長挨拶、藤井昌一実行委員長の歓迎のことば、来賓・招待者紹介と続き、70周年記念寄付として、栃木県・宇都宮市へ目録を贈呈し感謝状を頂戴しました。

来賓祝辞は石田順一ガバナー、福田富一栃木県知事、佐藤栄一宇都宮市長からいただき、メッセージ・祝電披露と続き、友好クラブのタイ・バンコクのパトムワンロータリークラブ及び同クラブのチャイワイPDGのメッセージをパトムワンロータリークラブの田中様より代読披露いただきました。

70周年記念事業「子ども食堂などの居場所やコーディネート事業への支援」の内容を、3月22日(火)宇都宮市役所にて行われた「手交式」のVTRを流しながら、目的・経緯・活動概要を田嶋社会奉仕委員長により報告が行われました。

次にクラブ在籍35年以上会員の紹介が行われ、対象者7名を代表して最長在籍44年の斎藤高蔵会員より挨拶があり、創立60年から70年の10年間のクラブ活動を振り返るVTRを上映し、60代から69代までの会長へ表彰及び感謝状贈呈が行われ、その代表者として喜谷辰夫会員より挨拶がありました。

式典の最後の閉式のことばを善林隆充直前会長により行われ、会長の点鐘により宇都宮ロータリークラブ創立70周年記念式典が終了しました。

本式典は当初2月12日の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を予定通りには開催できず4月23日に延期、更に祝賀会を中止とさせていただきます。

このような状況におきましても、宇都宮ロータリークラブ創立70周年記念式典が開催できましたことは、ひとえに関係の皆様のご協力・ご配慮の賜物と感謝申し上げまして開催報告とさせていただきます、誠にありがとうございました。









# ロータリー 一年交換学生募集要項



国際ロータリー  
第2550地区  
青少年交換委員会

## 2023～24 年度 ロータリー 一年交換学生募集要項

2022年 5 月 20 日

2021-22 年度 第 2550 地区ガバナー 石田 順一

青少年交換委員長 岩崎 正日登

国際理解と親善を推進するロータリー青少年交換プログラムは、親善使節として、最長一年間にわたり海外で生活、通学し、ホストロータリークラブの指導の下、様々な活動に参加できる、大変意義のある学生のための派遣プログラムです。交換学生はホストファミリーと一緒に生活し、他国の生活、文化、教育などを体験します。そのプログラムに参加する一年交換学生を、下記要項の通り募集致します。

派遣国 アジア、アメリカ、欧州等（派遣先は委員会により決定します。）

派遣期間 2023年8月頃 ～ 2024年7月頃の約1年間

募集人数 若干名

応募資格 1. 栃木県内に居住または県内の高校等に在学している1年生及び2年生、中学3年生

〔出発時年齢: 18歳6ヵ月未満～15歳以上の学生〕

2. 保護者の承諾、学校長とロータリークラブの推薦を得られる者。

費用負担 個人負担: 往復航空運賃、渡航手続き費用、保険料、研修費25万円（この金額には、地区所定のブレザー、名刺、ネームプレート等が含まれます。）等

派遣先国での生活費、学費は全て受入ロータリークラブが負担します。

滞在中、受入ロータリークラブから毎月1万円程度の小遣いの支給があります。

応募方法 クラブ宛配信済みの応募書類にて申請してください。

地区ホームページ <http://www.rid2550.com/> からダウンロードできます。

お申し込みは、下記あて郵送もしくは持参。

国際ロータリー第 2550 地区 ガバナー事務所

〒321-0945 宇都宮市宿郷 5-21-15 ベルヴィ宇都宮内

Tel 028-651-2550 m2550@agate.plala.or.jp

応募締切 **2022年7月20日(水) 必着**

選考試験 **2022年8月 7日(日)** 場所: ベルヴィ宇都宮 の予定

合否発表 2週間以内に本人、推薦クラブに文書で通知されます。

研修会 合格者は数回の研修会(オリエンテーション)の義務出席があります。その間、交換学生として不適当とみなされた場合、合格を取り消す場合もありますので、予めご了承下さい。

〔宿泊研修: 8月下旬～9月の土日2日間の予定 保護者同伴の研修等もあります。〕

派遣国決定 数回のオリエンテーションを経た後、最終的に地区青少年交換委員会が決定します。

交換とは地区(District)と地区の交換ですから、推薦クラブが来日学生の受入クラブとなる訳ではありません。又交換プログラムは、単に語学修得を目的にした制度ではなく、日本と相手国の相互理解を通し、世界平和を推進するロータリーの「青少年のためのプログラム」です。

また、派遣学生のご家庭には、当プログラムへの積極的なご協力が望まれます。





## ロータリーの魅力とは

私たちがロータリーに入会し、会員であり続けるのは、ロータリーに対して何らかの魅力を感じているからでしょう。ロータリーに魅力がなければ、入会もしませんし、会員であり続けることはできません。その魅力をどうとらえるかはロータリアン一人ひとりにより異なるかもしれません。

私はロータリーの魅力について問い直すにあたり、あらためてロータリーの本質を正しく再認識することが欠かせないと考えます。ロータリーのCore Values(中核的価値観)にこそロータリーの本質があると理解します。

1. Service: 人のために良心をもって行う行為・行動すべてであり、ロータリーでは社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・クラブ奉仕と分類されます。ロータリーならではの奉仕の理想や超私の奉仕をさせていただくことに魅力を感じます。
2. Fellowship: 奉仕の理念に集う私たちロータリアンはいわば同志であり、志を同じくする仲間であります。その仲間を大切に思う心を育て、ともにロータリーの目的に向かう原動力となるロータリーならではの親睦に魅力を感じます。
3. Leadership: 世界中の多種多様なリーダーの集まりの中で、相互に啓発されて、そのリーダーシップを学び磨きあうことのできる例会や研修などの多種多様なプログラムを備えるロータリーのメンバーであることに魅力を感じます。
4. Integrity: 人としての在り方としての大切な芯となる、誠実・真摯・信念・品位・法令順守など高潔性に大きな価値を置き、自分磨きができるロータリアンとしての自覚と誇りが持てることに魅力を感じます。
5. Diversity: 国・民族・宗教・言語・人種・性別・職業・年齢などの多様性を受け入れて認め合うだけでなく、Equity(公平) Inclusion(包摂性)の概念をとりいれて、誰一人として取り残すことのない世界をともに目指すことに魅力を感じます。

これら5つの中核的価値観をもとに、「私たちロータリアンはお互いに手を取り合って行動に移すことで、国際社会や地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生み出す世界を目指す」(ロータリーのビジョン声明)に対して大きな魅力を感じます。ロータリーはまさに、人としてのより良き生き方を学び成長することができる道場であり、世界平和をめざす実践哲学でもあります。このようなロータリーとの出会いに感謝してあらためてロータリーを学び、実践し、発信し、ロータリーを楽しみたいと思います。今まさに、ロータリーの魅力を再認識したうえで、時代の変化に適応した会員維持と会員増強が望まれます。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成(あすかRC)

## 2021-2022 地区内主要行事

| 月 | 日     | 曜日  | 行 事                            | 場 所         | 担 当          |
|---|-------|-----|--------------------------------|-------------|--------------|
| 6 | 5     | 日   | 第1回受入ホストクラブ研修会                 | ホテルニューイタヤ   | 地区青少年交換委員会   |
| 6 | 5     | 日   | 西那須野ロータリークラブ創立50周年記念式典         | 乃木温泉ホテル     |              |
| 6 | 12    | 日   | 高校生RYLAセミナー                    | 宇都宮文星女子高等学校 | 地区RYLA委員会    |
| 6 | 15    | 水   | 第2回インターアクト合同会議                 | ベルヴィ宇都宮     | 地区インターアクト委員会 |
| 6 | 19    | 日   | 米山第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会          | ホテルニューイタヤ   | 地区米山記念奨学会委員会 |
| 7 | 3     | 日   | 第2回受入れホストクラブ研修会                | ベルヴィ宇都宮     | 地区青少年交換委員会   |
| 8 | 7     | 日   | 23-24年度1年交換派遣学生選抜試験            | ベルヴィ宇都宮     | 地区青少年交換委員会   |
| 8 | 18    | 木   | 22-23青少年交換受入学生来日               |             | 地区青少年交換委員会   |
| 8 | 19~21 | 金~日 | 22-23青少年交換受入学生日本語勉強会           | ホテルニューイタヤ   | 地区青少年交換委員会   |
| 8 | 20    | 土   | 22-23一年交換学生歓迎会                 |             | 地区青少年交換委員会   |
| 8 | 21    | 日   | クラブ米山委員長会議                     | ホテルニューイタヤ   | 地区米山記念奨学会委員会 |
| 8 | 27    | 土   | 22-23青少年交換受入学生オリエンテーション        | ニューサンピア栃木   | 地区青少年交換委員会   |
| 8 | 27~28 | 土~日 | 23-24派遣学生・22-23受入学生宿泊オリエンテーション | ニューサンピア栃木   | 地区青少年交換委員会   |



## Rotary Region 1 & 2 & 3

# コーディネーター NEWS

2022年6月号 No.2

発行: Region 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター

### 2021-22年度もあと1カ月

2020年1月15日に日本で最初のCOVID-19感染者が確認されて2年5ヶ月が過ぎましたが、未だ多くの感染者が確認されています。この間、ロータリー活動も制限され、例会やロータリーの会合の多くが、ZOOMを使ったオンラインでの会合やオンラインとインパースンを合わせたハイブリッド会合となりました。

そして、北京冬季オリンピックが閉会した4日後の2月24日、ロシアがウクライナへ侵攻するという予想もしない出来事が起こりました。ロータリーの究極の目的が「世界平和」であることを考えると、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを願ってやみません。国際ロータリーは、早速2月25日にウクライナ情勢に対する声明を発出し、ロータリー財団はウクライナから避難する人々への人道支援のためにロータリー災害救援基金を募り人道的救援活動に活用していきます。そして、その額は1,450万ドル(5月12日更新)となっています。ロータリアンの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

さて、2021-22年度もあと残すところわずかとなりました。この時期になると、年度初期に決めたロータリー財団の目標の達成の可否が気になります。特に「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」は毎年地区ロータリー財団委員長を悩ませる懸案事項です。幸い昨年は皆様のご努力で日本の第1地域から第3地域のすべてのクラブが寄付をしていただき「年次基金ゼロクラブゼロ」を達成しました。ご存知のように年次基金への寄付は3年後の地区の地区補助金の財源となる貴重な資金です。この財源を利用して各地区の多くのクラブがプロジェクトを企画立案し、戦略計画に基づいてクラブの活性化を図ることが出来ます。皆様がロータリー財団の年度目標について、今一度ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

毎年日本のロータリー財団の目標はRRFCが策定することになっています。毎年国際ロータリー日本事務局財団室からの財団室NEWS 4月号に掲載されます。今年も次年度R財団目標が掲載されました。年次基金への寄付額目標は150ドル/ロータリアンですが、実はこの財団目標がクラブのレベルまで周知されていないことが、往々にしてあるのです。地区財団委員長の皆様には是非クラブレベルでの周知にご協力をお願いしたいと思います。

次年度はこれを踏まえ、地区財団委員長とロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー財団地域コーディネーター補佐(ARRFC)との合同会議を企画したいと思います。

第3地域の11地区では4月現在昨年同月比で8地区の寄付が昨年を上回りました。多くのご理解をいただき、コロナ禍の中にも関わらずご支援いただいたことに感謝申し上げ更なるご理解をお願いいたします。

第3地域 RRFC 永田 壮一(熊本城東RC)

## 新入会員紹介



**後藤 仁**  
真岡RC  
2022年4月14日入会  
株式会社常陽銀行  
真岡支店 支店長

よろしくお願いいたします。



**安井 孝三**  
真岡RC  
2022年4月14日入会  
とちぎんTT証券株式会社  
真岡支店 支店長

よろしくお願いいたします。



**佐山 勉**  
足利RC  
2022年4月18日入会  
株式会社足利銀行  
足利支店 理事支店長

初めてのロータリー活動となります。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。



**石原 光**  
宇都宮東RC  
2022年5月10日入会  
株式会社足利銀行  
宇都宮中央支店 支店長

人事異動により埼玉県川口支店から参りました。よろしくお願いいたします。



**高橋 誠生**  
今市RC  
2022年5月11日入会  
とちぎんTT証券株式会社  
今市支店 支店長

ロータリー活動を通じ、奉仕の理念を学んでいきたいと思っています。

## 入会おめでとうございます

訃報  
ご冥福を  
お祈りいたします



ささぬま  
笹沼 道正

まさみち  
2022年4月30日逝去（享年72歳）  
2013年3月19日入会

宇都宮東RC  
財団、米山記念奨学会などの寄付歴  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

4月会員数報告

|         | クラブ名                 |   |     | 例<br>会<br>数 | 会 員 数    |    |    |    |     |     |    |              |           |
|---------|----------------------|---|-----|-------------|----------|----|----|----|-----|-----|----|--------------|-----------|
|         |                      |   |     |             | 7月<br>1日 | 今月 | 入会 | 退会 | 通算増 | 通算減 | 増減 | 内女性<br>10歳未満 | 40歳<br>未満 |
| 第1グループ  | 大田原                  | 3 | 29  | 26          | 0        | 1  | 1  | 4  | -3  | 1   | 0  |              |           |
|         | 黒磯                   | 3 | 36  | 36          | 0        | 0  | 1  | 1  | 0   | 2   | 1  |              |           |
|         | 西那須野                 | 3 | 47  | 45          | 0        | 0  | 1  | 3  | -2  | 2   | 0  |              |           |
|         | 黒羽                   | 3 | 7   | 7           | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0  |              |           |
|         | 大田原中央                | 3 | 24  | 24          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 2  |              |           |
| 第2グループ  | 鳥山                   | 3 | 17  | 16          | 0        | 0  | 0  | 1  | -1  | 2   | 0  |              |           |
|         | 氏家                   | 3 | 24  | 23          | 0        | 0  | 0  | 1  | -1  | 2   | 0  |              |           |
|         | 矢板                   | 4 | 10  | 10          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 0  |              |           |
|         | 馬頭小川                 | 3 | 21  | 21          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0  |              |           |
|         | 高根沢                  | 2 | 15  | 14          | 0        | 0  | 0  | 1  | -1  | 0   | 0  |              |           |
| 第3グループA | 宇都宮                  | 3 | 101 | 101         | 0        | 0  | 8  | 8  | 0   | 3   | 1  |              |           |
|         | 宇都宮西                 | 3 | 75  | 73          | 0        | 0  | 1  | 3  | -2  | 0   | 1  |              |           |
|         | 宇都宮北                 | 4 | 43  | 42          | 0        | 0  | 1  | 2  | -1  | 0   | 0  |              |           |
|         | 宇都宮90<br>(宇都宮90結・衛星) | 1 | 6   | 5           | 0        | 0  | 0  | 1  | -1  | 3   | 2  |              |           |
|         | 宇都宮陽北                | 4 | 46  | 47          | 0        | 0  | 1  | 0  | 1   | 9   | 5  |              |           |
| 第3グループB | 宇都宮東                 | 4 | 112 | 115         | 0        | 1  | 8  | 5  | 3   | 0   | 5  |              |           |
|         | 宇都宮南                 | 4 | 54  | 54          | 1        | 0  | 4  | 4  | 0   | 6   | 1  |              |           |
|         | 宇都宮陽東                | 3 | 49  | 49          | 0        | 0  | 1  | 1  | 0   | 8   | 1  |              |           |
|         | 宇都宮陽南                | 4 | 24  | 24          | 0        | 0  | 1  | 1  | 0   | 7   | 4  |              |           |
|         | 宇都宮さつき               | 3 | 25  | 27          | 0        | 0  | 2  | 0  | 2   | 4   | 4  |              |           |
| 第4グループ  | 真岡                   | 2 | 57  | 59          | 2        | 2  | 4  | 2  | 2   | 0   | 0  |              |           |
|         | 益子                   | 3 | 28  | 29          | 0        | 0  | 1  | 0  | 1   | 2   | 1  |              |           |
|         | 真岡西                  | 2 | 35  | 38          | 2        | 2  | 6  | 3  | 3   | 5   | 0  |              |           |
|         | しもつけ                 | 4 | 20  | 19          | 0        | 0  | 1  | 2  | -1  | 3   | 1  |              |           |

|        | クラブ名   |   |      | 例<br>会<br>数 | 会 員 数    |    |    |    |     |     |    |              |           |
|--------|--------|---|------|-------------|----------|----|----|----|-----|-----|----|--------------|-----------|
|        |        |   |      |             | 7月<br>1日 | 今月 | 入会 | 退会 | 通算増 | 通算減 | 増減 | 内女性<br>10歳未満 | 40歳<br>未満 |
| 第5グループ | 小山     | 3 | 22   | 22          | 2        | 0  | 5  | 5  | 0   | 1   | 0  |              |           |
|        | 小山南    | 4 | 15   | 14          | 0        | 0  | 0  | 1  | -1  | 2   | 0  |              |           |
|        | 小山東    | 4 | 21   | 20          | 0        | 1  | 0  | 1  | -1  | 0   | 0  |              |           |
|        | 小山中    | 4 | 24   | 23          | 0        | 0  | 0  | 1  | -1  | 0   | 4  |              |           |
|        | 小山中    | 3 | 24   | 24          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 2   | 0  |              |           |
| 第6グループ | 栃木     | 4 | 46   | 48          | 0        | 0  | 4  | 2  | 2   | 5   | 0  |              |           |
|        | 栃木西    | 3 | 34   | 33          | 0        | 0  | 1  | 2  | -1  | 1   | 0  |              |           |
|        | 岩舟     | 3 | 11   | 10          | 0        | 0  | 0  | 1  | -1  | 0   | 0  |              |           |
|        | 壬生     | 4 | 20   | 20          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 2   | 0  |              |           |
|        | 栃木南    | 4 | 36   | 38          | 0        | 0  | 2  | 0  | 2   | 8   | 1  |              |           |
| 第7グループ | 日光     | 4 | 21   | 21          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 4   | 0  |              |           |
|        | 鹿沼     | 4 | 62   | 60          | 1        | 0  | 1  | 3  | -2  | 2   | 4  |              |           |
|        | 今市     | 2 | 41   | 42          | 0        | 0  | 2  | 1  | 1   | 1   | 0  |              |           |
|        | 鹿沼東    | 4 | 37   | 37          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 5   | 0  |              |           |
|        | 鹿沼中央   | 2 | 17   | 17          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 2   | 0  |              |           |
| 第8グループ | 今市きぬ   | 4 | 27   | 27          | 0        | 0  | 2  | 2  | 0   | 0   | 0  |              |           |
|        | 足利     | 1 | 21   | 23          | 0        | 0  | 3  | 1  | 2   | 0   | 1  |              |           |
|        | 足利東    | 3 | 34   | 32          | 0        | 0  | 1  | 3  | -2  | 4   | 0  |              |           |
|        | 足利西    | 2 | 11   | 11          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 0  |              |           |
|        | 足利わたらせ | 3 | 35   | 35          | 0        | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0  |              |           |
| 第9グループ | 佐野     | 2 | 55   | 55          | 0        | 0  | 1  | 1  | 0   | 0   | 0  |              |           |
|        | 葛生     | 2 | 39   | 36          | 1        | 0  | 3  | 6  | -3  | 0   | 6  |              |           |
|        | 田沼     | 3 | 43   | 44          | 0        | 0  | 1  | 0  | 1   | 0   | 0  |              |           |
|        | 佐野東    | 3 | 21   | 21          | 0        | 0  | 1  | 1  | 0   | 2   | 0  |              |           |
|        | 48RC   |   | 1668 | 1664        | 11       | 8  | 73 | 77 | -4  | 109 | 48 |              |           |

（メークアップは同じ年度内に行うことができるようになった為、地区では各クラブごとの出席率は掲載いたしません。）

編集後記

私たちが2021-2022年度「ガバナー月信」の編集、発行を担当いたしました。

「ガバナー月信」担当と決まった後、入会後「ガバナー月信」を真面に読んだ事があるか、地区の事を知っていることがあるかと暫くの間、自問自答して、公式訪問の記事が多くなると読まなくなると気づきました。

読んでもらえる「ガバナー月信」にするにはと考え、過去4年分の「ガバナー月信」の記事をまとめてみると同パターンで作られていました。石田ガバナーから「例年の編集方法を踏襲し、後は一任する。」と命を受けました。

2550地区のロータリアンの皆さんは違うと思いますが、私は地区の事も他クラブの事もほとんど知りません。私の興味・関心の赴くまま、2550地区及び各クラブの事業の情報を広く紹介し、他クラブの参考になるような記事、入会して日の浅い会員にもわかりやすい記事を通して、2550地区情報を多く掲載すると方針を決めました。

地区役員、各クラブの会長、幹事の皆さんに遠慮せず原稿依頼をしたところ、ほとんどの方たちから原稿をいただくことが出来ました。地区の事業を少々多く掲載できたと思いますし、各クラブの奉仕事業が社会的課題である「貧困」をキーワードに多く行わ



## 編集後記

れていることを知ることが出来感動しました。「会社は生き物だ。」と言われますが、ロータリーも生き物でなくてはならないと感じました。おかげで奉仕事業の特集記事も掲載することができました。少しでも、クラブ事業の参考になれば幸いです。

多くの原稿をいただき、編集に悩むことなく今月号で発行を終了することが出来ました。多くの皆様に感謝申し上げます。

(真岡RC 市村忠男)

一年間、校正を担当しました。ロータリークラブに入会して10年になります。今年は本当に貴重な経験をさせていただき感謝申し上げます。

数年前、会報委員会に配属になりウィークリーレポートの作成、発行に携わりましたが、ガバナー月信の校正は、その時の経験とは異なる点もあり多くの学びをすることが出来ました。この経験を今後のロータリー活動や私自身の成長に生かせることが出来ればと思います。

(真岡RC 久保賢司)

一年間編集作業に携わり感じました事は、どのクラブも会員入会に向けた取り組みで、ご苦勞なされている事を痛感しました。また、奉仕活動でも様々な活動がなされており、特に興味を持ちましたのは子供達に対しての支援活動です。子供食堂、フードバンク等々で活動がなされており、今後の活動に大いに期待が持てると感じました。私も地元で子供達に対しフードバンク及び制服リユースを小さいながら活動しておりますので元気を頂いた気分です。これからもロータリー活動及び地域への奉仕と、より一層精進していく所存です。

(真岡RC 廣澤雅信)

ガバナー月信の校正を担当しました。入会4年目でまだまだRCの組織のこと・他RCの活動内容などを十分には知らなかったもので、校正をしながら大変勉強になりました。来年度は真岡RC広報委員長を仰せつかっております。たくさんの素晴らしいRCの活動をもっともっと一般の方に知っていただきたいと強く思います。貴重な体験をさせていただきました。

(真岡RC 細谷慶忠)

初めてのガバナー月信委員会でしたが、月信の校正を通じて他人に見てもらう原稿を作る難しさ、楽しさを学びました。この一年間の活動は私にとって財産となりました。

(真岡RC 安田政昭)



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15

ベルヴィ宇都宮内1F

TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : <http://www.rid2550.com/>